

「多職種連携研修」開催要項

研修番号

15

1. テーマ

「地域住民とともにインクルーシブな社会をめざす地域包括ケアネットワークの構築

～広範な生活課題の把握と法人・事業所・専門職の取り組み～」

2. 講師

特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 理事長
合同会社TKT福祉経営研究所 代表 田島 誠一 氏

<プロフィール>

日本社会事業大学社会福祉学部卒業、社会福祉法人聖隷福祉事業団に就職、保育士、保育所所長、病院総務課長、本部事務局総務部長、病院事務長、高齢者総合施設長、常務理事などを歴任。2004年日本社会事業大学専門職大学院開設と同時に特任教授に就任（兼務）、2006年から2013年まで財団法人日本老人福祉財団理事長、2014年4月から2019年3月まで日本福祉大学福祉経営学部教授。

厚生労働省社会・援護局「社会福祉法人経営研究会」委員（2006年）、全社協「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程運営委員会」委員長（2012年～現在）、厚生労働省「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」委員（2013～2014年）などを務めてきた。

<主な著書>

『社会福祉法人の経営改革（社会保険研究所、2009年）』

『病院管理（共編、建帛社、2012年）』

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月1日（金） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】80名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する職員（役員・管理者を含む）

5. ねらい

今、一見豊かな社会に見えるこの国で、様々な社会・生活課題が大きくなっています。独居老人・「引きこもり」・「孤育」・老老介護・社会的孤立など多様な課題が見えています。地域とのつながりが希薄になっていることや、制度ごとに縦割りになっている支援などが、十分な対応を阻んでいるようにも思えます。

医療・介護・介護予防・住まい・教育・生活支援が一体的に提供されることをめざす「地域包括ケアシステム」の推進がうたわれています。地域共生社会とは、「誰も取り残さない」社会を言

うのだと思われます。社会福祉施設・事業所がこれまで以上のサービス向上を目指すのはもちろんですが、これに加え、住まい・教育・社会的排除などのさらに幅広い社会生活課題を解決し「共生社会」を構築するための働きも求められています。

また、社会福祉施設や福祉専門職だけで課題解決するのではなく、福祉・医療関係職種を超え教育・司法などさまざまな専門職や地域住民(組織)などとの連携と協働が求められています。社会福祉に関わる法人・施設には、これまでの豊かな経験と専門職の力があります。この力を生かして、地域共生社会構築の中心的な役割を發揮することが求められています。

「地域包括ケアシステム」が社会福祉施設・事業所に求める役割を理解するとともに、利用者に必要とされる施設・事業所のあり方だけ、誰もが住み続けたい地域づくりに必要な法人・施設・職員・諸機関・多職種・地域住民の連携・協働の仕組みづくりと実践の方法を考えていきます。

6. 日程

9:30 10:00		12:00	13:00	16:00
受付	講義 「地域住民を含む広範な連携・協働 において社会福祉施設・事業所が 果たすべき役割」	休憩	講義・演習 『「地域共生社会の実現に向けた 施設・事業所の取り組み」に ついて考える』	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和元年8月10日(土)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから願
いします。(<http://care-net.biz//zaitakune23t/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日(月)までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

8. その他(注意事項等)

(1) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ(事前レポート)」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。

※詳細はホームページに掲載されている「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。

(2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、公共交通機関でお越し下さい。

(3) 昼食は各自でおとりください(会場での飲食は可能です)。

(4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。

緊急連絡等は会場外でお願いします。

(5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調節ができる服装で受講ください。

(6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。